

しんねん
新年あけましておめでとうございます。
こんねんと
今年度も、残すところあと3か月となりました。
ひつづつ
引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、
みりょく
魅力ある給食作りに努めていきたいと思ひます。
ほんねん
本年もよろしくお願ひ致します。

今年(ことし)は巳(み)年(どし)!

へビは、食べる(た)ときに獲物(えもの)を丸(まる)のみ
しますが、皆さん(みな)は、よくかむこと
を意識(いしぎ)して味わ(あじ)って食べ(た)ましよう。



1月(がつ)24日(か)~30日(にち)は、全国(ぜんこく)学校(がっこう)給食(きゅうしょく)週間(しゅうかん)です!

にほん
日本の学校給食は、めいじ
明治22年、やまがたけんつるおかまち
山形県鶴岡町(現：つるおかし
鶴岡市)の私立(しりつちゅうあい)忠愛(ていあい)小(しょう)学(がっこう)校(ていぎょう)で提供(ていきょう)されたのがはじまりと
されています。その後、各地(ごち)に広(ひろ)まったものの、せんそう
戦争(せんそう)による食料(しょくりょう)不足(ふそく)で中絶(ちゅうだん)されてしまいました。
せんご
戦後(せんご)、子ども(こども)たちの栄養(えいよう)不足(ふそく)を改善(かいぜん)するため、しょうわ
昭和(しょうわ)21年(ねん)にアメリカ(あめりか)の支援(しえん)団体(だんたい)「LARA(アジア救済公認
団体)」から、給食用物資(きゅうじょうぶつし)の寄贈(きそく)を受けて、翌年(ごつねん)1月(がつ)から学校給食(がっこうきゅうしょく)が再開(さいかい)されることになりました。しょうわ
昭和(しょうわ)21年(ねん)12月(がつ)24日(か)に、とうきょうとない
東京都(とうきょうと)内の小(しょう)学(がっこう)校(ていぎょう)で給食用物資(きゅうじょうぶつし)の贈呈式(そうていしき)が行(おこな)われたことから、この日(ひ)を「がっこうきゅうしょくかんしゃ
学校給食感謝(がっこうきゅうしょくかんしゃ)の日(び)」
としましたが、しょうわ
昭和(しょうわ)25年(ねん)度(ど)からは、とうきょうとない
冬季休業(とうきせきゅうぎゅう)と重(かさ)ならない1月(がつ)24日(か)~30日(にち)までの1週間(しゅうかん)を「ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
全国学校給食週間」とすることがさだ
定め(さだ)られました。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
全国学校給食週間を通して、がっこうきゅうしょく
学校給食の意義(いぎ)や役割(やくわり)などをみな
皆さん(みな)に知(し)ってもらい、がっこう
学校給食(がっこうきゅうしょく)についてあらためてかんが
考える機会(きかい)にしてほし
いと思ひます。

学校給食(がっこうきゅうしょく)の移り変わり(うつりか)りを見(み)てみよう!

<p>めいじ ねん 明治22年</p> <p>しりつちゅうあいしょうがっこう 私立忠愛小学校で ていきょう 提供されたとき きゅうしょく の給食。</p>	<p>せんご しょうわ ねんだい 戦後(昭和20~30年代)</p> <p>しえんぶつし だつ しぶんいゆう 支援物資の脱脂粉乳 かんづめ こむぎ こ や缶詰、小麦粉など つか きゅうしょく を使った給食。</p>	<p>げんざい 現在</p> <p>ちいき しょう しょくざい と い 地域でとれる旬の食材を取り入 れ、きょうどりょうり ぎょうじしよく せかい りょう 郷土料理や行事食、世界の料 理など、食育の教材となる給食。</p>
--	--	--

おおたく
大田区では、おおたくがっこうきゅうしょくしゅうかん
1月24日から2月6日までを大田区学校給食週間とし、「おおたくがっこうきゅうしょく
大田区の学校給食
について、じどうせいと きょうしよくいん ぼくごしゃ ちいききゅうみんとう りかい かんしん だか
児童生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食の充実を図る」こ
とをちくてき
目的とします。また、1月29日は1(いちばんの)2(にんき)9(きゅうしょく)として「たこ
ぺったん」の日とします。
この期間(まかん)に、おおたくはつしやう
大田区発祥の「たこぺったん」「あげパン」やとうほうだいがく きやうどうかいほつ
東邦大学と共同開発した献立(こんだて)の実施(じっし)や「の
り」をつか
を使ったこんだて
献立を提供(ていきょう)します。

